



東北地域の和食文化メールマガジン

令和5年7月28日（金）第52号



【目次】

1. 東北農政局 「夏休みこども見学デー」の開催について
2. 「親子で学ぼう！体験しよう！“食品安全” 仙台放送みやぎ元気まつり 2023
3. 農林水産省 「高校生とつながる！つなげる！ジーニアス農業遺産ふーどコンテスト」を開催
4. 農林水産省 特設 Web サイト「マフ塾」開催中
5. 農林水産省 「第8回ジビエ料理コンテスト」の応募者募集
6. 食品等流通合理化促進機構 「第11回食品産業もったいない大賞」募集
7. 和食文化国民会議 「だしで味わう和食の日」協力校募集
8. 国立科学博物館 特別展「和食～日本の自然、人々の知恵」を開催
9. 全国漁業協同組合連合会 「第24回シーフード料理コンテスト」の参加者募集
10. 東北フードバンク連携センター「東北フードバンク連携フォーラム」を福島県で開催
11. 「aff」7月号について

=====

1. 東北農政局 「夏休みこども見学デー」の開催について

=====

東北農政局では、小学生と保護者を対象として「夏休みこども見学デー」を開催します。

『はし』を上手につかえるかな、「米粉を使った落雁（らくがん）を作ってみよう！」、「ミニトマト？すくい」、「クイズ『GI(ジーアイ)ってなあに？～その地域ならではの産品～』」など楽しい催しものがいっぱいです！ぜひお越しください！参加は自由です！（事前申込みが必要な特別企画は定員に達しました）

<日時>令和5年8月8日（火）10時～16時（受付終了15時30分）

<場所>仙台市青葉区本町三丁目3-1 仙台合同庁舎A棟8階

<受付>正面玄関入口のこども見学デー専用受付までお越しください。

<参加費>無料

（東北農政局 HP）詳細はこちらから→

<https://www.maff.go.jp/tohoku/press/kikaku/230712.html>

=====

2. 「親子で学ぼう！体験しよう！“食品安全” 仙台放送みやぎ元気まつり 2023

=====

農林水産省は、仙台放送の「みやぎ元気まつり 2023」のイベントにおいて、消費者庁、内閣府食品安全委員会、厚生労働省及び経済産業省と連携し「食品中の放射性物質」等の食品安全について学べるステージ企画や、ポスター展示、コマドリアニメ作り体験のブース出展をします。

<日時>令和5年8月5日(土)、6日(日)10時~17時

<場所>「夢メッセみやぎ本館展示棟」(仙台市宮城野区)

<対象>小学生やその保護者

<事務局>(株)仙台放送営業局営業部

(農林水産省 HP) 詳細はこちらから→

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/seisaku/230706.html>

(仙台放送 HP) 詳細はこちらから→

<https://www.ox-tv.co.jp/genki-fes/>

=====
3. 農林水産省 「高校生とつながる!つなげる! ジーニアス農業遺産ふーどコンテスト」を開催

=====
農林水産省は、農業遺産地域の魅力を広く発信し、地域活性化を図る取組の一環として、農業遺産地域に在学する高校生(高等専門学校含む)を対象に当該地域の産品を使った食品アイデアを募集します。

<応募期限>令和5年9月7日(木)

(農林水産省 HP) 応募方法の詳細はこちらから→

<https://www.maff.go.jp/j/press/nousin/kantai/230704.html>

(農林水産省 HP) 世界農業遺産・日本農業遺産の詳細はこちらから→

<https://www.maff.go.jp/j/nousin/kantai/index.html>

=====
4. 農林水産省 特設 Web サイト「マフ塾」開催中

=====
農林水産省は、令和5年度「こども霞が関見学デー」の一環として、食や農林水産業について学べる特設 Web サイト「マフ塾」を開催中!

手を動かしながら学べるワークショップやお魚大使による講演、小学生から大人まで楽しめるクイズなど、全国どこからでも農・林・水を学べる33のコンテンツを御用意しております。

<開催期間>令和5年8月31日(木)まで

(農林水産省 HP) 詳細はこちらから→

<https://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/koho/230714.html>

=====
5. 農林水産省 「第8回ジビエ料理コンテスト」の応募者募集

=====
農林水産省は、ジビエの全国的な需要拡大と鳥獣利活用の推進とともに消費者への普及啓発を図るため、ジビエ料理のレシピを募集しています。

<応募期限>令和5年10月2日(月)

<応募内容(部門)>①お店で食べたいジビエ料理部門 ②お家で食べたいジビエ料理部門

(農林水産省 HP) コンテストの詳細はこちらから→

<https://www.maff.go.jp/j/press/nousin/tyozyu/230707.html>

(一般社団法人日本ジビエ振興協会HP) 応募方法の詳細はこちらから→

<https://www.gibier.or.jp/contest2023/>

=====

6. 食品等流通合理化促進機構 「第11回食品産業もったいない大賞」募集

=====

食品等流通合理化促進機構は、食品産業の持続可能な発展に向け、地球温暖化防止・省エネルギー対策及び食品ロス削減等の取組を促進・支援している企業、団体及び個人の発掘、取組内容の周知を目的として表彰事業を募集しています。

<応募期限>令和5年8月31日(木)

(公益財団法人食品等流通合理化促進機構HP) 応募方法の詳細はこちらから→

<https://www.ofsi.or.jp/mottainai/>

(農林水産省HP) 過去の受賞内容ははこちらから→

<https://www.maff.go.jp/j/shokusan/recycle/ondanka/mottai/mottai.html>

=====

7. 和食文化国民会議 「だしで味わう和食の日」協力校募集

=====

和食文化国民会議は、ユネスコに無形文化遺産として登録された和食文化を保護・継承し、全国的に定着しつつある11月24日「和食の日」を中心に子どもたちが和食文化に触れる機会を提供する「だしで味わう和食の日」の協力校を募集しています。

<協力内容>11月中にだしを使った和食献立を給食として提供する取り組みのほか、和食会議が提供する資料配布やポスターを学校内に掲示する参加方法などの協力内容を複数用意しており、より協力校として参加し易い方法を選択できます。

<申込期限>令和5年10月2日(月)

<後援>文部科学省、厚生労働省、農林水産省

(一般社団法人和食文化国民会議HP) 募集の詳細はこちらから→

<https://washokujapan.jp/dashi-document/>

=====

8. 国立科学博物館 特別展「和食～日本の自然、人々の知恵」を開催

=====

「和食」がユネスコ無形文化遺産に登録されて10年。

世界中でますます注目の高まる和食を、バラエティ豊かな標本や資料とともに、科学や歴史などの多角的な視点から紹介します。

日本列島の自然が育んだ多様な食材や人々の知恵や工夫が生み出した技術、歴史的変遷、そして未来まで身近なようで意外と知らない和食の魅力に迫ります。

<場所>国立科学博物館 東京上野公園

<期間>令和5年10月28日(土)～令和6年2月25日(日)

<開館時間>9時～17時

<休館日>月曜日（月曜日が祝日の場合は火曜日）、年末年始（12月28日～1月1日）

<チケット>今秋販売開始予定

*会場等は変更になる場合があります。詳細は決定次第、展覧会公式サイトでお知らせします。

=====

9. 全国漁業協同組合連合会 「第24回シーフード料理コンテスト」の参加者募集

=====

全国漁業協同組合連合会では、「みんなでうお活」をテーマにシーフード料理コンクールを開催。

「プロを目指す学生部門」「うお活チャレンジ部門」で参加者を募集しています。

<応募期限>令和5年9月22日（金）当日必着

（全国漁業協同組合連合会 HP）コンテストの詳細はこちらから→

https://pride-fish.jp/seafood_concours/

=====

10. 東北フードバンク連携センター「東北フードバンク連携フォーラム」を福島県で開催

=====

（一社）東北フードバンク連携センターは、フードバンクの支援を必要とする人々に対し、支援のハードルが低く、食品ロス効果もあるフードバンク事業について理解を深めるためのフォーラムを開催します。福島県内でフードバンク事業に取り組む団体の事業を紹介。食を通じたセーフティネットへの参画のきっかけを掴んでいただく機会です。（参加無料）

<開催日時> 令和5年8月10日（木）14時～15時30分

<場所>いわき産業創造館（LATOV6階）企画展示ホール A（福島県いわき市平田町120番地）

※会場参加とオンライン（Zoom）によるハイブリット開催

<参加対象> フードバンクに関心のある行政、NPO、企業や市民等（会場定員：100名 / オンライン定員：100人）

<申込みフォーム> [申込みフォーム](#)←こちらから。外部リンク Google フォーム

<問い合わせ先>（一社）東北フードバンク連携センター 茶谷・三浦 電話 022-393-8201 e-mail: tohoku.fb.info@gmail.com

=====

11. 「aff」7月号について

=====

農林水産省の広報誌「aff」は、奇数月に「未来につなぐ和食」を掲載しています。未来を担う子供たちが専門家に和食の疑問を直撃。

（農林水産省 HP）「aff」最新号はこちらから→

<https://www.maff.go.jp/j/pr/aff/index.html>

=====

問い合わせ先：東北地域の和食文化ネットワーク事務局 東北農政局経営・事業支援部食品企業課 担当：小田桐

TEL：022-263-1111（内4570）

メールアドレス：keisyonw-tohoku@maff.go.jp

※東北地域の和食文化メールマガジンへの御意見・御要望をお待ちしております。

★農林水産省の Web サイト（和食文化ネットワーク）→

<https://www.maff.go.jp/j/keikaku/syokubunka/network/main.html>

☆東北農政局や農林水産省では、このほかにも各種メールマガジンを発行しております。申し込みはこちらから→

<https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/index.html>